

正義

政 治を巡る一番の関心事は「安倍晋三首相は長期政権となるか」という点にある。「1強時代」の中、どうしても自民党内の動きに目が向くが、本来は野党も重要なプレ

薄い野党第1党、民主党について考
えてみたい。

きはある。

らとは一線



支持層をいかに広げていくのか……

目標明確な一橋下新党

らと言つて「バラ色の未来」が描け
るわけではないのが現実だ。

一方、「橋下新党」に触発されてい
るわけでもなかろうが、民主党内か
らも「新党立ち上げ構想」が聞こえ
てくる。3グループの中堅議員も「3
グループ全体をまとめて離党し、新
党を立ち上げることも検討課題に入
っている」と威勢がいい。ただ、相
当な「力仕事」になるのは確実だ。
果たして、それをできる人材が3グ
ループの中にいるかと言えば、大き
き

受け立つ側の自民党幹部は冷やかだ。「過去に、一から【そこそこの政党】を立ち上げることができた例は、みんなの党だけ。なぜ可能だったかと言えば、初代代表の渡辺喜美氏の父である美智雄氏の人脈、金脈（後援会「温知会」）が全国に張り巡らされており、極端に言うなら、

東奔政走

安倍氏「1強」を再確認する 見えない民主党の「未来」

すえつぐ しょうぞう
末次 省三 (毎日新聞政治部長)

主党についてこれからどう進んでいくか、そんなことを講演いただく形になつた。長島グループ、馬淵グループの皆さんとはぜひ政策、理念を共有して、この国のあるべき方向をしつかり見定めていくという仲間であります」。

あるいは、我々が政権を担える政党に生まれ変わる、その原動力になろう、という声が一つになつた成果がこの勉強会だ。

長島氏「こういう形で三つのグループが一緒になつて勉強会ができるということは、将来にぜひとも期待を持つていただきたい」

出席者によると、三浦氏の講演のポイントは次の3点だ。

①今後、民主党が政権を取るためにも、リベラルをターゲットにしていても有権者の3割くらいしか押さえ

②前回2009年夏の政権交代は、
民主당이 리베랄だから有権者に評
価されたというわけではなく、官僚
機構の非効率といった無駄を徹底的
に糾弾したことがマイルドな保守層
に受けた。

がいる』という体制だ。お分かりだろうが、これができるのは連合しかない

こうした中で、いすれにしてもキーマンは橋下氏」と語るのは本来は野党から遠いはずの首相官邸関係者で、「橋下新党」の行方に注目している。つまり、野党の今後について明確な目標や期待を持っているプレイヤーは、「橋下新党」と首相官邸だけではないか。民主党を論じるつもりが、これでは改めて「1強」を確認することになってしまふ。